

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年10月7日発行 第19号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介(その9)

更別小5年生 JAさらべつ青年部の皆さんと春に植えた「カボチャ」を収穫

9月7日に学校応援団であるJAさらべつ青年部のご協力をいただき、更別小学校5年生が春と一緒に植えたカボチャの収穫をしました。

始めに、青年部の森さんからカボチャの採り方について教えていただき、子どもたちは葉っぱに隠れているカボチャをみつけ、意気揚々と収穫していました。



青年部長の大石さんからは、「状況が許せば、今後児童の皆さんと一緒にカボチャの調理をしたい。」というお話をいただきました。

収穫したカボチャのうち、「雪化粧」は調理をする場合のために残しておき、それ以外は「試食用に家に持ち帰って。」とお願いいただき、子どもたちは、小さなカボチャまでひとつ残らず持ち帰りました。

収穫したカボチャ
少々小ぶりか
みしかし、大地の恵
を実感しました。



末広学級生と更別小4年生との交流

9月9日に末広学級生14名と更別小4年生が交流をしました。この交流会は会場

を村内小中学校3校で持ち回りをし、今年の会場は更別小学校でした。

今回は、社会福祉協議会の方が年代を問わず楽しめるような5つのゲームを準備してくださいました。

末広学級生と4年生でチームをつくり、そのチームでそれぞれのゲームを楽しみ交流を深めました。皆さん笑顔で交流しているのが印象的でした。



【 異年齢交流で生まれる優しい心 】

子どもたちへの応援メッセージ

一緒に交流をした末広学級生の方からメッセージが届きました。一部抜粋して紹介いたします。



更別小4年生の皆さんへ

○4年生の皆さんは、はきはきとしていて積極的に話しかけてくれたり一緒にゲームを楽しんだりしてくれました。私もわくわくして本当に楽しいひと時を過ごすことができました。

また、私たちを年寄り扱いすることなく、友だちのように接してくれたのがうれしかったです。

○私のグループは、活発で元気いっぱいの笑顔が素敵で、素直で優しい二人のお子さんと私の3人でした。

いよいよゲームが始まりました。誰かが二回やることになるので、ゲームが進むたびに、優しく「おじさん二回やって」と声をかけてくれます。また、失敗しても「ドンマイ、ドンマイ」と笑って見過ごしてくれます。そんな雰囲気の中で楽しくゲームをすることができました。

☆素晴らしい4年生の皆さん、楽しい交流会本当にありがとうございました。また、先生方も準備から運営までいろいろとありがとうございました。